

2019年6月18日

国立市議会議長 石井 伸之 様

提出者 重松 朋宏

” 住友 珠美

” 上村 和子

賛成者 望月 健一

” 小川 宏美

議案の提出について

議員提出第4号議案

「第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会」開催都市として、
アメリカの未臨界核実験に抗議する決議（案）

上記の議案を次のとおり、会議規則第13条の規定により提出します。

「第9回平和首長会議国内加盟都市会議総会」開催都市として、
アメリカの未臨界核実験に抗議する決議（案）

アメリカ合衆国が、2019年2月13日にネバダ州の核実験場において未臨界核実験を実施していたことが明らかになりました。

国立市議会は、2012年に同様の核実験が実施された際にも厳重な抗議を行ってきましたが、核爆発を伴わないとはいえ、今後も核兵器の開発を進め、維持していく意志を示していると受け止めざるを得ない行為です。

2017年に国際連合で核兵器禁止条約が採択され、核兵器廃絶へ向けた国際社会の気運が高まる中でのアメリカ合衆国の行為は、平和を願う国際社会の意思を踏みにじるものであり、断じて容認できるものではありません。

国立市では1955年に町ぐるみで原水爆禁止くにたち大会を開催して以来、1982年に「非核武装都市宣言」を、2000年に「平和都市宣言」を議会で議決し、2019年に「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」を制定するなど、平和への取り組みを続けてきました。また、市議会はこれまで、アメリカ合衆国のみならず旧・ソビエト社会主義共和国連邦、フランス共和国、中華人民共和国、インド、パキスタン・イスラム共和国、朝鮮民主主義人民共和国などあらゆる国のあらゆる核実験に対して抗議する決議をあげてきました。

本年10月には、平和首長会議(世界163カ国・地域7,764都市)の第9回国内加盟都市会議総会を国立市で開催します。

よって、平和都市を宣言した国立市議会として、アメリカ合衆国の未臨界核実験に対し厳重に抗議するとともに、今後一切の核実験の中止と、「核兵器のない世界」を目指した理性に基づく努力がなされることを強く求めます。

以上、決議します。

2019年6月 日

東京都国立市議会

提出先 アメリカ合衆国大統領

内閣総理大臣、外務大臣、衆議院議長、参議院議長